

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの2022年8月15日付「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入場前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入場できない。出発前に入場者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入場前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入場できない。
- (5) 「健康チェック表」を入場者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入場できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入場を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入場から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中はマスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰を吐かないこと。
- (12) 食事は、選手控え場所のみで、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

第 98 回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 二次要項

兼 全豪選手権日本代表選考会

■参加状況

参加団体数 89 団体

参加人数合計 143 名（男子 85 名・女子 58 名）

■競技について

- ・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS 競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_ows_20180401_3.pdf

■スケジュール概要

・10月14日(金)

- 14:00 チーム受付・竿検査 開始(北条海岸にて)
- 15:00 公式練習 開始、チーム受付・竿検査 終了
- 16:00 公式練習 終了
- 17:00 監督者会議(オンライン Zoom)

・10月15日(土)

- 6:30 女子 10km 受付開始
- 7:00 アップ開始(指定エリア)
- 7:30 女子 10km 受付終了
- 8:00 アップ終了
- 8:10 女子 10km 選手招集
- 8:30 女子 10km スタート、栈橋許可(女子担当)登録コーチ入場開始
- 9:30 男子 10km 受付開始
- 10:30 男子 10km 受付終了
- 11:10 男子 10km 選手招集
- 11:30 男子 10km スタート、栈橋許可(男子担当)登録コーチ入場開始
- 14:00 公式練習(5km男女)開始
- 14:30 公式練習 終了

・10月16日(日)

7:00	女子5km	受付開始
7:30		アップ開始(指定エリア)
8:00	女子5km	受付終了
8:30		アップ終了
8:40	女子5km	選手招集
9:00	女子5km	スタート、男子5km受付開始
10:00	男子5km	受付終了
10:40	男子5km	選手招集
11:00	男子5km	スタート

■前日チーム受付(参加必須) 必ずチーム受付を済ませること(代理受付可能)

日時: 10月14日(金) 14時00分~15時00分

場所: 北条海岸会場内 受付テント

配布物: チームバッグ(ADカード、プログラム、各種資料)

選手用バッグ(ADカード、ナンバリングシール、プログラム、参加賞、各種資料)

■公式練習

日時: 10月14日(金) 15時00分~16時00分 (16時00分退水)

- ・公式練習の際は、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・練習コースは、当日ライフセーバーの誘導・指示に従うこと。
- ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。

なお、ラップゲート、ゴールエリア、給水エリア付近での練習はその限りではない。

但し、周りの競技者に十分注意をして利用すること。

・10月14日(金)の給水エリア利用方法

- ①給水コーチの入場制限は設けない。但し、一般見学者の立入りは禁止とする。
- ②給水エリアでは、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ③給水エリアで使用する給水竿は日本水泳連盟OWS競技規則に準ずること。
- ④給水で利用した飲み物容器(ペットボトル)等は必ず持ち帰ること。

- ・5kmの選手は、10月15日(土) 14時00分~14時30分に練習をすることができる。
練習コースは、当日ライフセーバーの誘導・指示に従うこと。

■監督者会議

日 時：10月14日（金）17時00分開始（16：45より入室可能）

- ・本会議はオンライン会議（Zoom）にて実施する。参加URL、ミーティングID、パスコードは、後日HPアップ予定の監督者会議資料に掲載する。（10月12日（水）掲載予定）
 - ・監督者会議資料は各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。（当日配布は行わない）
 - ・Zoom会議参加は、各所属（チーム）から1名のみ参加とする。
 - ・Zoom会議入室時、所属（チーム）略称および氏名が表示されるよう入力して参加すること。
- ※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予めZoomをインストールしておくこと。

■大会当日 選手受付

場 所：北条海岸会場内 受付テント

日 時：

【10km】10月15日（土）女子：6時30分～7時30分、男子：9時30分～10時30分

【5km】10月16日（日）女子：7時00分～8時00分、男子：9時00分～10時00分

- ・会場入り口にて消毒と検温を済ませ、「選手・スタッフ 健康チェック表」を1人1枚提出する事。
 - ・選手受付の際は、本人確認（ADカード発行）、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）チェックをおこなう。
- *注意：選手は「選手・スタッフ 健康チェック表」とは別に「OWS健康チェックシート」も提出すること。「選手・スタッフ 健康チェック表」「OWS健康チェックシート」はHPからダウンロードすること。
- ・ナンバリングシール貼付は各自でおこなう。貼付場所と番号の向きに注意して貼ること。
 - ・トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。
ビニールテープを使用する場合は各自で用意のこと。
 - ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。FINAマークが見えるように提示すること。
 - ・手足の爪の手入れをし、装飾品（ジュエリー類）を取り外してから選手受付をおこなうこと。

■入場ゲート

- ・感染対策強化のため、必ず入場ゲートを通して会場へ入退場すること。
- ・その日初めて入場する時にゲートで検温し、検温済リストバンドを手首またはADカードに巻きつける。
- ・リストバンドはその日終日、切り取ってはいけない。（選手のみ、招集直前で切り取り可）
- ・リストバンドは毎日カラーを変更する。

■大会当日 ウォームアップ

日 時：10月15日（土）7時00分～8時00分（8時00分退水）当日指定エリア

10月16日（日）7時30分～8時30分（8時30分退水）当日指定エリア

■ 棧橋入場許可登録及び給水竿検査

日時：10月14日（金）14時00分～15時00分または10月15日（土）選手受付時間に実施

場所：北条海岸OWS会場 チーム受付横

- ・給水竿が不合格となり、再検査を命ずる場合もある為、なるべく前日(14日)の竿検査を推奨する。
- ・15日(土)に棧橋に入場できるのは、エントリー時に給水コーチとして登録した者のみとし、棧橋入場許可登録を上記日時に行うこと（ADカードへ棧橋入場許可のシールを貼付）。
- ・給水竿（フィーディングポール）は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがっていてもならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される（OWS6.16）。
- ・合格竿には検査済証シールを貼付する。
- ・5km競技で給水はできない。

■ 15日(土)の給水エリア入場方法および注意

- ・給水棧橋は、スタート前には入場できない。
- ・帯同コーチ以外の関係者は、棧橋に入場できない。
- ・競技スタート前、コーチは棧橋入口にて選手ナンバー順に列を作って待機し、係の指示で入場すること。
- ・給水およびコーチングは、指定された給水エリアで行う。
- ・給水竿は、今大会の検査済証シールを貼付したものを使用すること。
- ・給水エリアでコーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。（OWS3.6および6.3.1）
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水エリアから物(食べ物を含む)を投げてはならない。
- ・選手は給水竿か手渡しで物を受け取らなければならない。
(但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない)（OWS6.16）
- ・コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・指定エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る（占有する）ことを禁止する。
- ・担当選手の給水・コーチングを終えたら一旦後列に下がり、他のコーチと譲り合って利用すること。
- ・密を避けるため、ディスタンス指示のテープラインの中には、それぞれ1名しか入れない。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・海上に浮遊するコップ等のゴミは、タモ網等により責任を持って回収し、各自で処分すること。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・給水エリア内では必ずマスクを着用し（フェイスシールドのみは不可）、選手への節度ある声掛けは、可とするが、大声は厳に慎むこと。
- ・ホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

■選手招集

- ・選手招集の際は、ADカード、前日配布の選手バッグ（個人の荷物入れ）を持参すること。
- ・トランスポンダーを両腕に装着してくること。
- ・招集時のマスク着用は、入水直前まで必須とする。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動すること。
- ・ビーチ入口でADカードを係員に渡してビーチ待機位置へ移動すること。
- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参すること。
- ・ビーチではディスタンス指示用のマーカーコーンに一人ずつ立ち、互いの距離を保って待機すること。
- ・入水直前にマスクを外し、マスク・サンダルを含めた全ての個人手荷物を選手個人袋に入れること。
- ・選手個人袋は、フィニッシュ後に招集テントの自分の椅子にて回収する。
- ・選手個人袋に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返却しない。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示す。
- ・選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手（片手）でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグの振り下ろし）によりスタートする。

■ラップゲート

- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水

- ・フィニッシュゲートのタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。
（手のひらで確実にタッチすること）。
- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
- ・トランスポンダー返却後、呼吸が整い次第、マスクを着用すること。
（新しいマスクは、フィニッシュ後、ドーピングコントロールデスク付近で配布する）
- ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても、左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。紛失した場合は、参加者の実費負担とする。
- ・競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。
また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■表彰

- ・競技終了後、直ちに表彰式を行う。ただし1位～3位はフォトセッションを予定。
- ・1位は牌と賞状、2位・3位はメダルと賞状、4位～8位は賞状を授与する。
- ・上位3名については表彰を行う。
- ・各競技終了後、大会本部にて牌・メダル・賞状を受け取る事。(ADカードを持参する事)。

■選手ナンバーの抽選と発表

日 時：9月30日(金)18時00分～ オンライン抽選会により決定。

(公財)日本水泳連盟ホームページ内OWSの「NEWSお知らせ」欄で発表する。

■OWS競技映像ライブ配信について

- ・男女各競技とのYouTubeにてライブ映像配信する。
- ・配信映像URLは、本連盟ホームページに掲載する。

■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により「10月15日(土)～16日(日)2日間の大会期間の中で、競技開始時間・コース・距離を変更して行う」ことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝6時に決定し、本連盟ホームページ内OWS委員会「お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「お知らせ」欄にて通知する。

■緊急中止の対応

- ・緊急中止の際は、審判長から合図を送る。合図があったら、一番近くのブイまで泳ぐこと。その後はライフセーバーの指示に従うこと。
- ・緊急中止になった場合でも、退水時にドーピングコントロールデスクでトランスポンダーを返却し、ADカードを受け取る事。
- ・緊急中止となり、且つ再レースが不可な場合は、直前のラップゲートの順位を最終順位とする。

■その他

(1) OWS競技の水着

- ・(公財)日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf

(2) 安全について

- ・(公財) 日本水泳連盟「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf
 - ・(公財) 日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
 - ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
 - ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
 - ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
 - ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。
- (3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、競技終了後 30 分以内に大会本部の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 10,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。
- (4) 選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の種目ごとの選手受付終了時間までに、大会本部へ提出すること。
- (5) 本大会は、JADA によるドーピング検査対象となる。
- (6) 本大会中は、館山旅館の屋外シャワー（温水）、館山市三軒町無料休憩所のシャワーを利用することができる。
- (7) マッサージエリアは事前登録を行った上で、会場内の指定した場所で利用できる。利用に関しては、別紙参照の上、ガイドラインを遵守して利用すること。

以上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。